

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
11時37分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00909	健康診断実施事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11016	01 10 06 02 02 01 01	健康診断実施事業（学校保健体育費）	
所属長	橋本 健一		担当者（内線）中尾 慎吾（669-228）	
根拠法令等	学校保健安全法			
事業開始年度	昭和33年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	児童、生徒等の健康診断の検査項目等の見直し及び職員の健康診断の方法や就学時健康診断の様式等の改正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市立小中学校・幼稚園の児童、生徒等		
目標	児童、生徒の健康の保持増進を図る。		
結果	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。		
事業概要	学校保健安全法により健康診断に従事することと定められている学校医、学校歯科医による、児童、生徒等の健康診断を実施する。 4月～6月に行う定期健康診断と10月～12月に行う就学時健康診断が主な業務である。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	107,925	105,074	108,916	107,024	110,931
人件費職員数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,268	3,160	3,221	3,221	3,178
総事業費(A+B)	111,193	108,234	112,137	110,245	114,109
特定財源(C)	2	1	2	1	1
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	2	1	2	1	1
市負担(D)	111,191	108,233	112,135	110,244	114,108
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	111,191	108,233	112,135	110,244	114,108
財源計(C+D)	111,193	108,234	112,137	110,245	114,109

所属	保健給食室
事務事業番号	00909

2頁
平成30年 6月 6日
11時37分09秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校・園で学校保健安全法に基づいた健康診断を実施する。	目標	児童、生徒等の健康の保持増進を図る。
成果内容	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができた。	達成状況	全ての学校・園で健康診断を実施できた。 (29年度 30,610人中30,550人受診 受診率99.8%)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 昨年度と比較して増加している主な理由は、児童・生徒等の増加によるものであり、事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、法令で定められた健康診断をほぼ全ての児童・生徒等が受診し、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	健康診断実施事業	事業区分	その他
事務事業番号	00909				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で児童、生徒の健康診断を行うことと定められているため、事業を行うことは妥当である。 また、児童、生徒の健康の保持増進を図るために有効である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
19時56分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00910	児童生徒等検診委託事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11017	01	10	06 02 02 01 02 検診委託事業（学校保健体育費）
所属長	橋本 健一	担当者（内線）中尾 慎吾（669-228）		
根拠法令等	学校保健安全法			
事業開始年度	昭和33年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	児童、生徒等の健康診断の検査項目等の見直し及び職員の健康診断の方法や就学時健康診断の様式等の改正			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法定外検診（子どもの生活習慣病予防検診）を実施			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市立小中学校に通う児童、生徒		
目標	児童、生徒の健康の保持増進を図る。		
結果	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。		
事業概要	学校保健安全法に定められている児童、生徒の各種検診（尿検査、心臓検診、結核検診）を委託により実施する。また、法定外の検診として、生活習慣病の危険因子を早期に発見し、医療や生活指導に結びつけるとともに、家族や児童・生徒自身が食生活や生活習慣を見直すきっかけとなることにより健康で豊かな学校生活を送ることを目的に、子どもの生活習慣病予防検診を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	（一社）吹田市医師会
		委託先②	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	学校心臓検診、子どもの生活習慣病予防検診
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	26,167	24,969	26,355	25,305	26,944
人件費職員数(人)	2.56	2.56	2.40	2.40	2.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,916	20,224	19,325	19,325	19,068
総事業費(A+B)	47,083	45,193	45,680	44,630	46,012
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	47,083	45,193	45,680	44,630	46,012
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	47,083	45,193	45,680	44,630	46,012
財源計(C+D)	47,083	45,193	45,680	44,630	46,012

所属	保健給食室
事務事業番号	00910

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校で学校保健安全法に基づいた検診を実施する。	目標	児童、生徒の健康の保持増進を図る。
成果内容	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができた。	達成状況	全ての学校で検診を実施できた。 (29年度 29,711人中 29,522人受診 受診率99.3%)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、昨年度と比較して僅かに増加している。主な理由は、児童・生徒の増加によるものであることから、事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、法定で定められた検診をほぼ全ての児童・生徒が受診し、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	児童生徒等検診委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00910				

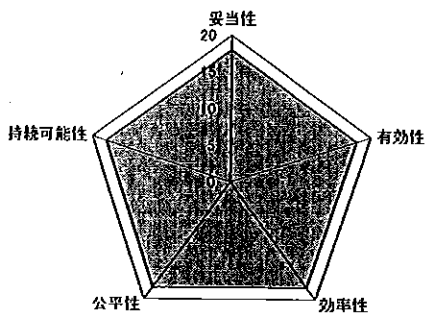
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00910
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で児童、生徒の健康診断を行うことと定められているため、事業を行うことは妥当である。 また、児童、生徒の健康の保持増進を図るために有効である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
19時57分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00911	教職員健康診断事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11020	01	10	06 02 02 02 01
所属長	橋本 健一	教職員健康診断事業（学校保健体育費） 担当者（内線）中尾 慎吾（669-228）		
根拠法令等	学校保健安全法 労働安全衛生法			
事業開始年度	昭和33年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	児童、生徒等の健康診断の検査項目等の見直し及び職員の健康診断の方法や就学時健康診断の様式等の改正			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法定外検診（乳がん、子宮がん及び大腸がん検診）を実施			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他			
対象	市立小中学校に勤務する府費負担教職員			
目標	教職員の健康の保持増進を図る。			
結果	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。			
事業概要	学校保健安全法及び労働安全衛生法に基づき、教職員の定期健康診断及びストレスチェック等の健康管理事業を実施し、健康の保持増進を図る。また、法定外の検診として乳がん、子宮がん及び大腸がん検診を実施する。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	（一社）吹田市医師会	
		委託先②	（医）崇孝会 北摂クリニック	
		委託先③	（一財）阪大微生物病研究会	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	教職員定期健康診断、乳がん検診等	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	15,701	12,454	17,901	12,852	15,149
人件費職員数(人)	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	7,844	7,584	7,730	7,730	7,628
総事業費(A+B)	23,545	20,038	25,631	20,582	22,777
特定財源(C)	4	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	0	0
市負担(D)	23,541	20,038	25,631	20,582	22,777
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	23,541	20,038	25,631	20,582	22,777
財源計(C+D)	23,545	20,038	25,631	20,582	22,777

所属	保健給食室
事務事業番号	00911

2頁
平成30年 6月 7日
19時57分28秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	教職員に対し、定期健康診断、ストレスチェック、がん検診等を実施する。	目標	教職員の健康の保持増進を図る。
成果内容	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができた。	達成状況	全小・中学校で教職員に健診等を実施できた。(平成29年度定期健康診断 1,942人中1,822人受診 受診率93.8%)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 昨年度と比較して僅かに増加している主な理由は、平成29年度からストレスチェックを全ての教職員に実施したためであり、事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、教職員健康診断をほぼすべての教職員が受診し、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

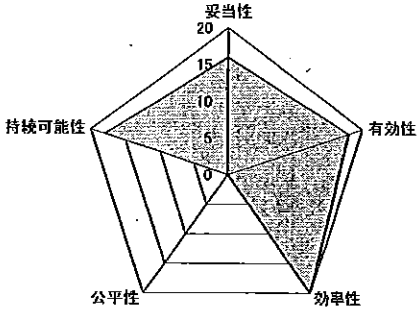
所属名	保健給食室	事業名	教職員健康診断事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00911				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>教職員の健康診断は学校保健安全法により実施することが定められていることから、事業を行うことは妥当である。 平成27年度から、産業医による教職員の健康相談やストレスチェック、健康診断結果に基づく事後指導を実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
11時13分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00912	学校環境衛生管理事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11021	01	10	06 02 02 03 01
所属長	橋本 健一		担当者（内線）中尾 慎吾（669-228）	
根拠法令等	学校保健安全法及び学校環境衛生基準			
事業開始年度	昭和33年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	教室等の環境に係る望ましい温度の基準など学校環境衛生基準の見直し			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市立小中学校・幼稚園		
目標	学校・園の環境衛生を維持する。		
結果	幼児、児童、生徒の健康を保護する。		
事業概要	学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準により、幼児、児童、生徒の健康を保持するために、プール水水質検査、教室内空気検査、照度検査等を行い学校の適切な環境を維持する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	（一社）吹田市薬剤師会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	学校プール水水質検査
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	28,364	29,369	29,605	30,239	30,294
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	1,208	1,208	1,192
総事業費(A+B)	29,590	30,554	30,813	31,447	31,486
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	29,590	30,554	30,813	31,447	31,486
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,590	30,554	30,813	31,447	31,486
財源計(C+D)	29,590	30,554	30,813	31,447	31,486

所属	保健給食室
事務事業番号	00912

2頁
平成30年 6月 6日
11時13分51秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校保健安全法及び学校環境衛生基準に基づき快適な学校環境を保障する。	目標	学校・園の環境衛生を維持する。
成果内容	幼児、児童、生徒の健康を保護できた。	達成状況	全ての学校・園において、各種検査を実施することができた。(学校プール水水質検査他3検査を実施)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 昨年度と比較して事業費が増加している主な理由は、塩素濃度を高める学校プール薬品費が増加したためである。遊泳者数及び日射量が多いほどプールの塩素濃度は低下する。昨年度に比べ、児童生徒数は増加し、プール期間中の日射量も多かったことから、薬品使用量が増加したものであり、事業費の増加はやむをえないと考える。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、法定で定められた検査等を全ての学校・園で実施し、事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校環境衛生管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00912				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00912
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準により、幼児、児童、生徒の健康の保護のために学校の環境を維持する必要があることから、事業を行うことは妥当である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
20時00分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00913	学校事故補償等事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成				
予算事業	11022	01	10	06	02 02 04 01	学校事故補償等事業（学校保健体育費）
所属長	橋本 健一		担当者（内線）			内山 淳平（669-228）
根拠法令等	独立行政法人日本スポーツ振興センター法					
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正	平成29年度			
改正内容	災害共済給付制度の加入可能対象施設の拡大（専修学校、一定の基準を満たす認可外保育施設など）					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	市立小中学校に通う児童・生徒	
目標	学校管理下での災害（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対し、対象者が補償を受けられるようにする。	
結果	給付金の支給により、学校管理下での災害に起因する当事者の心理的負担を軽減し、もって児童・生徒の学習活動を確保する。	
事業概要	日本スポーツ振興センター災害給付制度及び全国市長会学校災害賠償補償保険により、児童、生徒への学校管理下の災害（負傷、疾病、障がい又は死亡）に対する補償を行う。	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,465	29,693	30,586	29,797	30,891
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.56
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	4,450
総事業費(A+B)	37,001	36,013	37,028	36,239	35,341
特定財源(C)	10,727	11,383	10,833	11,488	11,141
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,727	11,383	10,833	11,488	11,141
市負担(D)	26,274	24,630	26,195	24,751	24,200
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	26,274	24,630	26,195	24,751	24,200
財源計(C+D)	37,001	36,013	37,028	36,239	35,341

所属	保健給食室
事務事業番号	00913

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	児童、生徒数	人	目標値	29,683.00	29,759.00	29,762.00
			実績値	29,683.00	29,759.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	日本スポーツ振興センター災害給付制度の加入者(掛金を支払う児童、生徒数)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.21	1.22	
			一般財源(千円)	0.83	0.83	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学校管理下での災害への給付金支払件数	件	目標値	3,474.00	3,408.00	3,399.00
			実績値	3,358.00	3,366.00	
			達成度(%)	96.70	98.80	
目標値の積算方法	過去3年間の給付金支払件数の実績値平均	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.72	10.77	
			一般財源(千円)	7.33	7.35	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	日本スポーツ振興センター災害給付制度等により、児童、生徒への学校管理下の災害に対する補償を行う。	目標	学校管理下での災害(負傷、疾病、障がい又は死亡)に対し、対象者が補償を受けられるようにする。
成果内容	給付金の支給により、学校管理下での災害に起因する当事者の心理的負担を軽減することで児童・生徒の学習活動を確保できた。	達成状況	給付金の申請、支払い手続きを滞りなく行った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 前年度と比較して僅かに増加している主な理由は、児童・生徒の増加によるものであり、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 全児童・生徒が加入し、必要な給付金が支払われている。</p> <p>【今後の方向性】 学校管理下での災害に対して給付金の支払いを行うことによって、当事者の心理的負担を軽減し、児童・生徒の学習活動の確保を図っている。結果として、安心安全な教育環境づくりの推進に寄与することができるため、事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、今後も事業を継続する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校事故補償等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00913				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00913
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>日本スポーツ振興センター災害給付制度及び全国市長会学校災害賠償補償保険に加入することにより、学校管理下における事故に対し、補償を受けることができおり、当事者の心理的負担の軽減に寄与していることから、事業の有効性は高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時52分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00914	給食施設管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成							
予算事業	11040	01	10	06	03	01	01	01	給食施設管理事業（学校給食費）
所属長	橋本 健一			担当者（内線）			松本 晃一（669-226）		
根拠法令等	学校給食法								
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	学校給食法で定義する「義務教育諸学校」に義務教育学校の追加								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市立小学校の児童及び学校関係者		
目標	給食設備等の適切な管理に努め、児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。		
結果	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。		
事業概要	給食設備等の点検や清掃、老朽化した給食調理室、給水管、昇降機等の改修工事を行う。 また、児童数の大幅な増加に対応するため、給食調理室を増築及び改修を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	379,454	338,528	136,221	122,019	223,695
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	391,709	350,378	148,299	134,097	235,613
特定財源(C)	10,516	0	0	0	0
国	10,516	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	381,193	350,378	148,299	134,097	235,613
地方債	175,100	175,100	22,900	0	152,500
その他	0	0	0	0	50,000
一般財源	206,093	175,278	125,399	134,097	33,113
財源計(C+D)	391,709	350,378	148,299	134,097	235,613

所属	保健給食室
事務事業番号	00914

2頁
平成30年 6月 7日
16時52分15秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	給食設備の保守点検、清掃業務の実施	目標	定期的、計画的に点検及び清掃を行う。
成果内容	空調機器、小荷物専用昇降機の保守点検、分離槽・下水管の清掃等を行った。	達成状況	定期的、計画的に点検及び清掃を行い、安全で衛生的な給食提供が継続できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額する必要がある。 給食施設の改修の財源確保に向けた取組として、国の補助金の活用が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 施設・設備の老朽化が激しく、年次的に施設を改修していく必要がある。また、児童数の大幅な増加が見込まれるため、給食施設を増築及び改修していく必要があり、経費については、効率的な実施方法を選択し、削減に努める。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	給食施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00914				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00914
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>給食に関する施設・設備を整備し、衛生的で安全な環境を保つためには、事業の継続は必要である。</p> <p>また、多くの給食施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な改修工事が必要になっている。引き続き、長期的な児童推計の把握に努め、児童数の大幅な増加が見込まれる給食施設については計画的に設備増強や施設の改修をしていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
15時25分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00915	学校給食運営事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	14	教育内容の充実/健康な児童・生徒の育成				
予算事業	11041	01	10	06	03 01 02 01	学校給食運営事業（学校給食費）
所属長	橋本 健一			担当者（内線）	松本 晃一（669-226）	
根拠法令等	学校給食法					
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正	平成28年度			
改正内容	学校給食法で定義する「義務教育諸学校」に義務教育学校の追加					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市立小学校の児童及び学校関係者		
目標	児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。		
結果	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。		
事業概要	学校給食法に基づき、衛生的に良好な調理及び安全衛生管理に基づいて、民間の力も活用しながら給食運営を行い、日々の学校給食を児童等に提供する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 東洋食品
		委託先②	(株) テスティバル
		委託先③	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
	主な委託内容	市内小学校9校での給食業務の一部委託。	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	344,668	336,691	366,534	359,100	408,949
人件費職員数(人)	80.00	79.00	77.00	76.00	77.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	653,600	624,100	620,004	611,952	611,765
総事業費(A+B)	998,268	960,791	986,538	971,052	1,020,714
特定財源(C)	10,458	10,319	11,637	11,507	12,015
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,458	10,319	11,637	11,507	12,015
市負担(D)	987,810	950,472	974,901	959,545	1,008,699
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	987,810	950,472	974,901	959,545	1,008,699
財源計(C+D)	998,268	960,791	986,538	971,052	1,020,714

所属	保健給食室
事務事業番号	00915

2頁
平成30年 6月 5日
15時25分27秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	小学校給食を実施する。	目標	小学校児童等を対象に給食を提供する。
成果内容	安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食の提供を行った。	達成状況	児童及び学校関係者に給食を提供し、平成29年度の年間延べ給食数は、約424万7千食であった。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 学校給食の運営については、民間の力も活用し、事業の効率化を図りながら継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校給食運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00915				

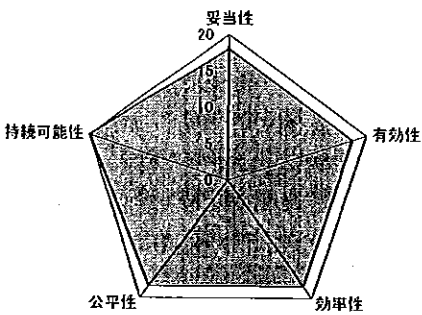
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞給等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00915
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小学校給食は、法に基づく事業であり、市が関与すべき事業である。 平成23年度から調理等業務について業務委託を導入し、平成29年度には36校のうち9校の調理等を民間事業者に委託している。 引き続き、学校給食事業の効率的な運営に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
15時56分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00916	厨房用備品更新事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11042	01	10	06
所属長	橋本 健一	03	01	03
根拠法令等	学校給食法	01	厨房用備品更新事業（学校給食費）	
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正 平成28年度		
改正内容	学校給食法で定義する「義務教育諸学校」に義務教育学校の追加			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市立小学校の児童及び学校関係者		
目標	計画的に厨房用備品の更新を行い、児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。		
結果	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。		
事業概要	学校給食に使用する厨房用備品のうち、老朽化したものを計画的に更新する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	21,721	21,676	21,696	20,550	21,487
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	29,891	29,576	29,748	28,602	29,432
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	29,891	29,576	29,748	28,602	29,432
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,891	29,576	29,748	28,602	29,432
財源計(C+D)	29,891	29,576	29,748	28,602	29,432

所属	保健給食室
事務事業番号	00916

2頁
平成30年 6月 5日
15時56分03秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	厨房用備品の更新を行う。	目標	老朽化した厨房用備品を計画的に購入する。
成果内容	老朽化した厨房用備品の更新によって、機器の能力低下による事故を防いだ。	達成状況	計画的に厨房用備品を購入した結果、安全で衛生的な給食提供が継続できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 学校給食調理に必要な厨房用備品の更新経費であるため必要不可欠な事業である。耐用年数を過ぎた厨房用備品が数多くあり、計画的な更新計画を推進していくためには、事業費の増額を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	厨房用備品更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00916				

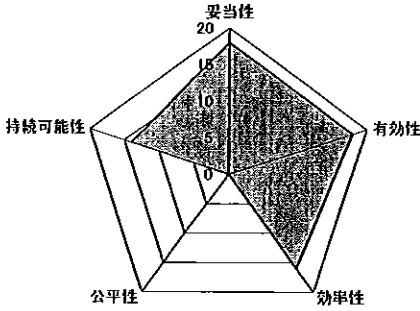
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00916
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>給食調理室に設置している厨房用備品の老朽化が進んでいる。 厨房用備品については、経年劣化等により修理が出来ない状況を防ぐため、毎年計画的な更新が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
17時42分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00917	給食用物資購入資金貸付事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成							
予算事業	11043	01	10	06	03	02	01	01	給食用物資購入資金貸付事業（学校給食費）
所属長	橋本 健一			担当者（内線）松本 晃一（669-226）					
根拠法令等	学校給食法								
事業開始年度	昭和22年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	学校給食法で定義する「義務教育諸学校」に義務教育学校の追加								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	市立小学校の児童及び学校関係者		
目標	吹田市学校給食会に資金の貸付けを行い年度当初の給食用物資の購入業者への支払を円滑に行う事で、児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスの取れた給食を提供する。		
結果	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。		
事業概要	<p>学校給食を実施する吹田市学校給食会に対して、学校給食用物資購入資金の貸付けを行う。</p> <p>学校給食用物資の支払いは、月末締め翌月支払いとなっている。4月分の給食用物資の支払を5月に行うには、約6,000万円以上必要となるが、学校からの4月分給食費の入金は、年度当初の手続き上、例年6月に振り込まれる。5月の支払い時点で、資金不足となるため、貸付金を受けることにより学校給食用物資4月分の支払いを行う。</p> <p>なお、貸付金については、年度末に全額返還を受けている。</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
	□ 補助金・負担金	委託先③	
主な委託内容			
交付先①			
□ その他	交付先②		
	交付先③		
	□ その他	内容	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	54,085	53,950	54,026	54,026	53,973
特定財源(C)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
市負担(D)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
財源計(C+D)	54,085	53,950	54,026	54,026	53,973

所属	保健給食室
事務事業番号	00917

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	学校給食を実施する吹田市学校給食会に対して、学校給食用物資購入資金の貸付けを行う。	目標	学校給食会に資金の貸付けを行い、年度当初の給食物資の購入業者への支払を円滑に行う。
成果内容	年度当初の物資の支払等に対して使用し、年度末に全額返還を受けた。	達成状況	貸付金の使用により、年度当初の給食物資の支払いが円滑に行えた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 小学校給食を運営するうえで、給食物資の購入業者への支払いを滞りなく支払いをするためには、貸付金を使用することは必要であり、継続すべきである。</p>		

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	給食用物資購入資金貸付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00917				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	00917
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校給食を実施する吹田市学校給食会に対して、学校給食用物資購入資金の貸付けを行っている。 事業の継続は妥当である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
09時09分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00918	中学校給食運営事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成			
予算事業	11044	01	10	06 03 03 01 01	中学校給食運営事業（学校給食費）
所属長	橋本 健一		担当者（内線）磯部 智司（669-222）		
根拠法令等	学校給食法				
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	学校給食法で定義する「義務教育諸学校」に義務教育学校の追加				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内全18校の中学生		
目標	中学生に安全で栄養バランスに配慮した給食を提供する。		
結果	成長期にある中学生に、安全で栄養バランスに配慮した給食を提供することにより、健康増進を図るとともに、健全な食習慣を身につけ、自らの健康を管理できるようにする。		
事業概要	<p>事前に希望する日を選んで申し込む「選択制」の給食で、調理業務等は民間の事業者へ委託している。</p> <p>申込方法は、「吹田市中学校給食登録申請書」を提出して予約システムに登録し、インターネット・マークシートを利用して、前月の20日まで（月の後半の追加分については当月5日まで）に予約する。</p> <p>保護者等が負担する給食費は1食300円で、登録後に納めた給食費の範囲内で予約することができる。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社 松ちゃん給食
		委託先②	株式会社 お弁当の浜乃家
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	給食の調理、配送、配膳等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	67,008	64,328	73,658	69,150	82,379
人件費職員数(人)	2.00	3.00	3.00	4.00	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	23,700	24,156	32,208	31,780
総事業費(A+B)	83,348	88,028	97,814	101,358	114,159
特定財源(C)	17	12	3	2	2
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	17	12	3	2	2
市負担(D)	83,331	88,016	97,811	101,356	114,157
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	83,331	88,016	97,811	101,356	114,157
財源計(C+D)	83,348	88,028	97,814	101,358	114,159

所属	保健給食室
事務事業番号	00918

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	中学校給食の喫食率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	13.80	13.80	
			達成度(%)	27.60	27.60	
目標値の積算方法	給食申込者数÷給食対象者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6,378.84	7,344.78	
			一般財源(千円)	6,377.97	7,344.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	毎月、全生徒へ献立表を配付して、献立等の周知を図った。また、保護者を対象とした説明会や試食会等を開催し、中学校給食の目的や特徴を保護者に説明する機会を設けた。	目標	成長期にある中学生が健全な食習慣を身につけ、自らの健康を管理できるようにする。
成果内容	選択制の給食は、持参弁当の代替的な役割もあり、必要な生徒に栄養バランスに配慮した給食を提供するとともに、全ての生徒の食事・栄養に関する意識の向上を図った。	達成状況	平成29年度の年間利用食数は、236,800食で、前年度と比べて、8,075食(3.4%)の増となった。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 職員配置の見直しに伴う人件費の増と利用食数の増及び単価改定により委託料が増加しているが、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 昨年度と同率となった喫食率については、生徒・保護者・学校の意見を参考にしながら、引き続き、向上を目指すしていく。</p> <p>【今後の方向性】 府内の他市の状況が変化しており、引き続き、今後の中学校給食の在り方を検討する。</p>	

事務事業分析シート

所属名	学校教育部 保健給食室	事業名	中学校給食運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00918				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納時には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	学校教育部 保健給食室	事務事業番号	00918
-----	-------------	--------	-------

2018/6/613.00

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

<p>【平成30年度拡充内容】 次の制度見直し等を実施して、利用者の利便の向上を図っている。 1 生活保護世帯への中学校給食費の支給(実負担額分を生活保護費(教育扶助)で支給) 2 1回の手続きで卒業までの予約を自動的に行う一括継続予約の運用 3 ごはんの大盛の新設により、主食の量を選択できる方式に変更(第2学期実施)</p>
--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>全中学校で選択制の中学校給食を実施しており、健康増進や食育推進とあわせて、家庭弁当が持参できない生徒の昼食を確保する面からも、事業実施の必要性は高い。平成29年度の全校合計の喫食率は、前年度と同率の「13.8%」となっているが、学校間の差は大きい。平成25年度以降、月後半分の追加予約の受付開始等、利便性の向上を図っているが、明らかな喫食率の向上につながっていない。</p> <p>今後も、生徒・保護者・学校の意見等も参考にし、献立面での工夫や試食会等を通じた保護者へのPR等、引き続き、利用者数を増加させるための努力をしていく。</p> <p>あわせて、他市の例を参考に、実施方法の変更に必要な経費の試算や各方式のメリット・デメリット等を比較・分析して、今後の本市の中学校給食のあり方について検討していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>府内の近隣各市では、中学校給食を様々な方法で実施しており、北摂では本市を含めて4市で選択制で中学校給食を実施しているが、ここ数年で、実施方法を変更している自治体(大阪市・高槻市等)もある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時58分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01770	児童等健康管理事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成							
予算事業	11018	01	10	06	02	02	01	03	児童等健康管理事業（学校保健体育費）
所属長	橋本 健一				担当者（内線）	中尾 慎吾（669-228）			
根拠法令等	学校保健安全法								
事業開始年度	昭和33年	直近の改正	平成28年						
改正内容	児童、生徒等の健康診断の検査項目等の見直し及び職員の健康診断の方法や就学時健康診断の様式等の改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市立小中学校の児童、生徒等		
目標	児童、生徒等の健康の保持増進を図ることと併せて、学校管理下での心臓突然死を防ぐ。		
結果	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。		
事業概要	児童、生徒等の健康の保持増進を図るため、うがい器や歯ブラシ保管庫の設置・更新を行う。また、全ての市立小・中学校に設置されているAEDの更新を行うことで、学校管理下での心臓突然死を防ぐ。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,179	456	8,600	5,437	1,075
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	409	395	403	403	1,192
総事業費(A+B)	1,588	851	9,003	5,840	2,267
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,588	851	9,003	5,840	2,267
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,588	851	9,003	5,840	2,267
財源計(C+D)	1,588	851	9,003	5,840	2,267

所属	保健給食室
事務事業番号	01770

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	更新または一部交換すべきAED数	台	目標値	1.00	43.00	8.00
			実績値	1.00	43.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	851.00	135.81	
			一般財源(千円)	851.00	135.81	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	うがい器、AED等の学校の設備の充実に努める。	目標	児童、生徒等の健康の保持増進を図ることと併せて学校管理下での心臓突然死を防ぐ。
成果内容	学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができた。	達成状況	うがい器、歯ブラシ保管庫、AEDの適切な設置・更新ができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 昨年度と比較して増加している主な理由は、AEDの更新台数が多数であったためであり、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 学校設備の拡充に努めることができた。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、うがい器、歯ブラシ保管庫、AEDの更新を適切に行うことにより、児童・生徒等の健康の保持増進を図ることと併せて、学校管理下での心臓突然死を防ぐことができるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	児童等健康管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01770				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	01770
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で児童、生徒等の健康増進を図るための学校の施設及び設備の整備充実に努めることとされており、事業を行うことは妥当である。 また、児童、生徒等の健康の保持増進を図ること併せて、心臓突然死を防ぐために有効である。 なお、全学校に配置しているAEDが、順次、耐用年数(7年)を超えるため、年次的な機器更新が必要となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時54分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001040000	保健給食室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01771	普通教室空調設備増設設置事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業	11824	01	10	06 02 02 01 04 普通教室空調設備増設設置事業（学校保健体育費）
所属長	橋本 健一		担当者（内線）大友 瑞穂（669-223）	
根拠法令等	学校保健安全法及び学校環境衛生基準			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	教室等の環境に係る望ましい温度の基準など学校環境衛生基準の見直し			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市立小中学校		
目標	児童・生徒数の増加に伴い新たに配置する普通教室に空調を整備する。		
結果	児童・生徒の健康を保護し、適切な学習環境を確保する。		
事業概要	学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準に基づき、児童・生徒数の増加に伴い新たに設置する普通教室に空調を整備することにより、児童・生徒の健康を保護し、適切な学習環境を確保する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	2,886	4,247	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.16	0.16	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	1,289	1,289	0
総事業費(A+B)	0	0	4,175	5,536	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	4,175	5,536	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	4,175	5,536	0
財源計(C+D)	0	0	4,175	5,536	0

所属	保健給食室
事務事業番号	01771

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	児童・生徒数の増加に伴い新たに配置する普通教室に空調を整備する。	目標	児童・生徒数の増加に伴い新たに配置する普通教室全室に空調を整備する。
成果内容	児童・生徒の健康を保護し、適切な学習環境を確保した。	達成状況	新たに配置する普通教室に空調を整備した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費の評価】 工事実施及び備品購入について、いずれも入札により事業者を決定しており、事業費は適切である。</p> <p>【進捗状況の評価】 平成29年度においては、新たに配置する普通教室に予定どおり空調設備を整備できた。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、児童・生徒の健康を保護し、学校環境衛生基準に規定される適切な学習環境を確保するためには、空調設備が必要であり、継続すべき事業である。今後も、空調設備の設置を進めながら、学習環境を整えていく。</p>		

事務事業分析シート

2018/6/611:32

所属名	保健給食室	事業名	普通教室空調設備増設設置事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01771				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健給食室	事務事業番号	01771
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準により、児童・生徒の健康を保護し、適切な学習環境を確保するためには、空調設備の設置が有効である。ニーズも高く、部として重点的に取り組む事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校環境衛生基準の改正(平成30年(2018年)4月1日施行)により、教室等の環境に係る温度の基準について、これまで「10℃以上、30℃以下であることが望ましい。」とされていたところを、「17℃以上、28℃以下であることが望ましい。」と見直された。